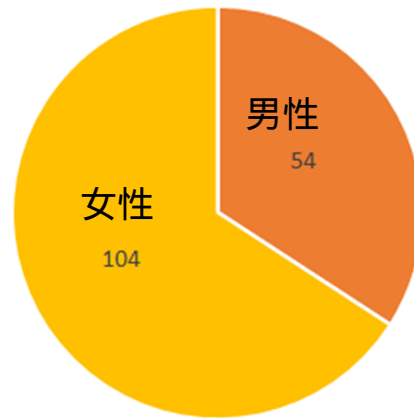


「令和2年度うきは市プレミアム付商品券発行事業」 における利用者アンケート結果と事業効果

販売額約350,000千円のプレミアム率25%（うち県10%、市15%）
 総事業費52,297,847円（紙商品券37,346,100円 電子商品券 14,951,747円）
 全額コロナ臨時交付金を活用
 事業実施期間 令和2年4月～令和3年3月

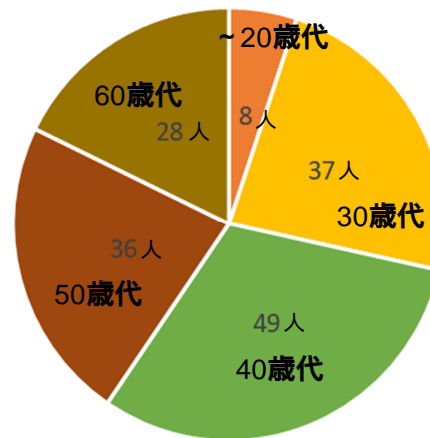
回答者性別

男性・・・54名
 女性・・・104名
 合計・・・158名



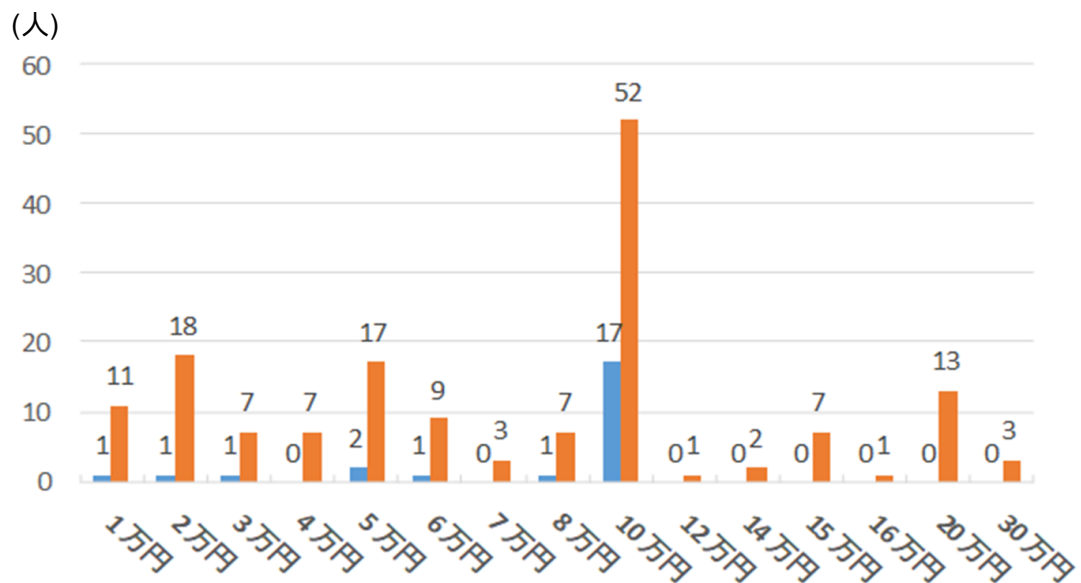
回答者年齢

～20歳代・・・8名(5.06%)
 30歳代・・・37名(23.42%)
 40歳代・・・49名(31.01%)
 50歳代・・・36名(22.78%)
 60歳代・・・28名(17.72%)

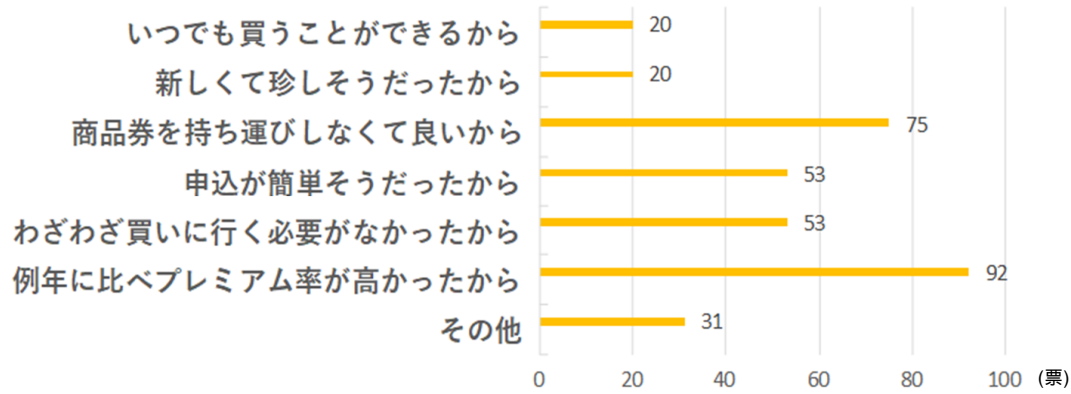


購入金額

■ 紙商品券(人) ■ 電子商品券(人)



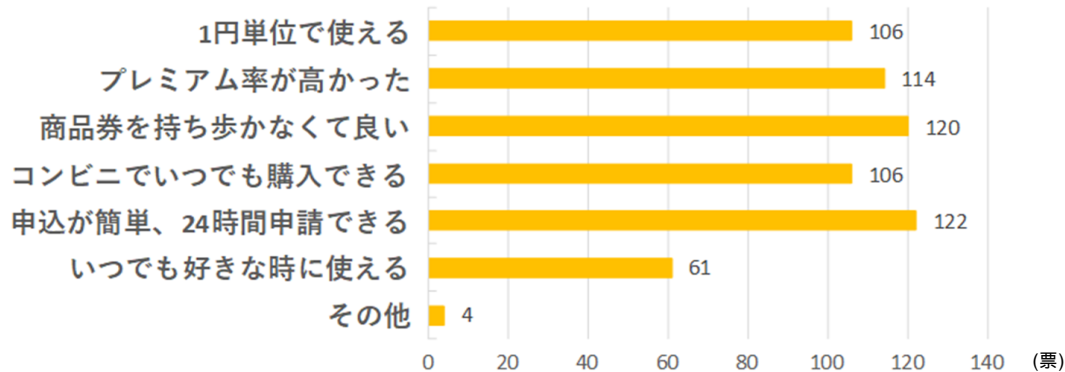
電子商品券の購入理由



その他意見

紙の商品券が完売していたから いつも行っているお店で使えたから 少額から使えるから 1円単位や端数まで使えるから 引っ越して来て、市内での買い物を重視したかったから 紙と購入時期がずれていて、金銭の用意が出来たから 紙商品券の購入期限に間に合わなかったから 食費や日用品など生活費の節約のため 高額利用するお店があったから

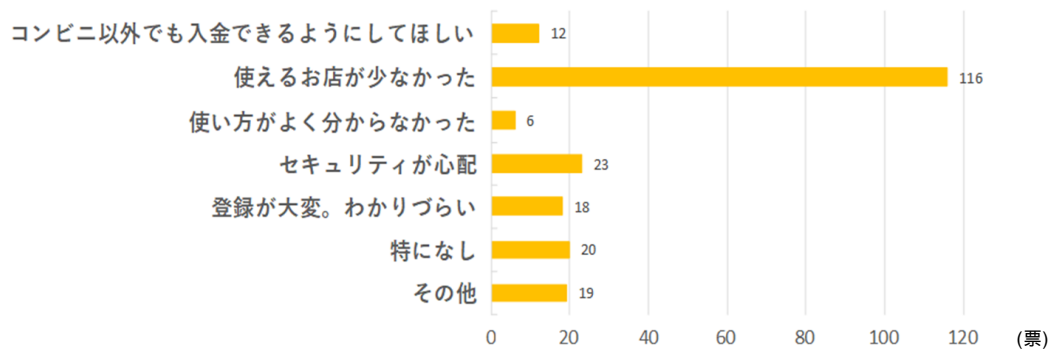
電子商品券のメリット



その他意見やコメント

支払いが早い 残高が分かる 管理がしやすい 地元の消費を意識した スマホだけ持っていれば良いから便利 お釣りがいらぬい お金を触らなくて良いのでコロナ対策として有効 現金と商品券引き換えに時間をとらない 登録や仕組みなどわかりやすかった

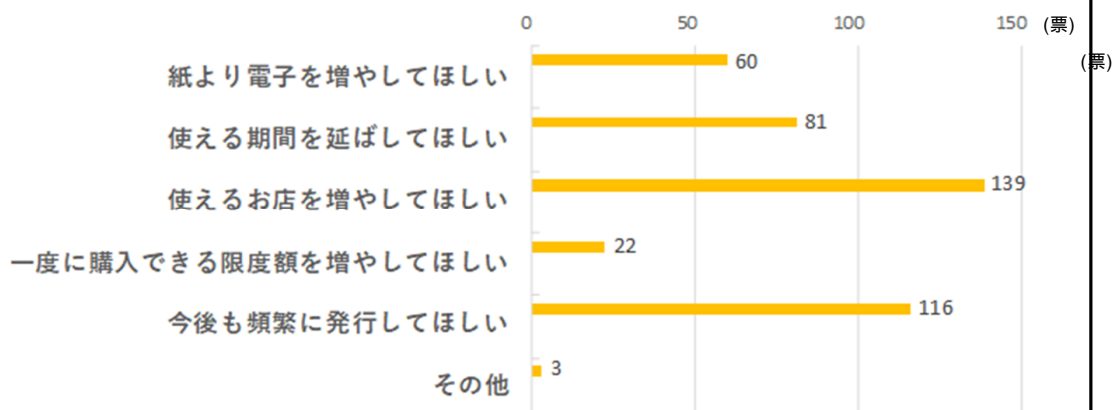
電子商品券のデメリット



その他意見やコメント

入金時に数字が小さくてお店の方が見えづらそうだった 登録方法が面倒だった もう少しお店の情報があると良かった 使用期限が短い 使えるお店のマップがほしい 地元スーパーで使えると良い

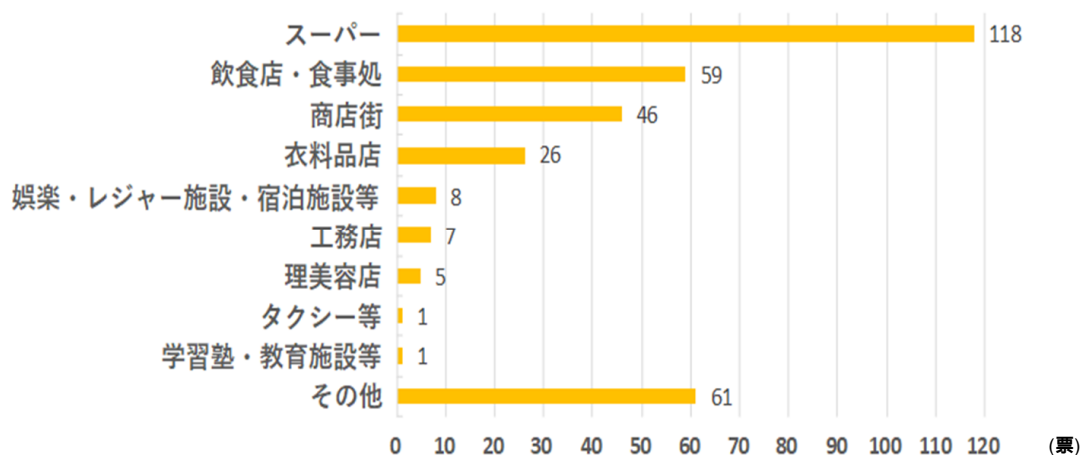
電子商品券への要望



その他意見やコメント

とても便利でまた利用したい 使用期限を延長してほしい 販売される告知がわかるようにしてほしい プレミアム率が高くて嬉しい とても便利で最後まで使い切れた いろいろなお店で利用したい 限度額を減らしてでもほとんどの人が買えるようにしてほしい ずっと続けてほしい 金額入力なしで決済できると良い 外れた時は悔しい コロナ禍において人の接触を減らしたり、地元へ貢献できるから良い。使用履歴も見返すことができるので便利

電子商品券の主な利用先

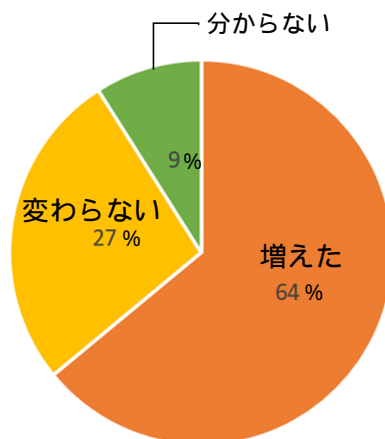


その他利用先

農業資材販売店 ガソリンスタンド 携帯ショップ 文具店 道の駅 薬局 コンビニ 自動車整備工場 洋菓子店など

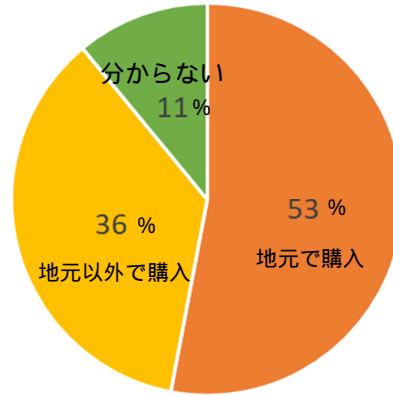
電子商品券購入による消費の変化

普段より増えた・・・64%
変わらない・・・27%
分からない・・・9%



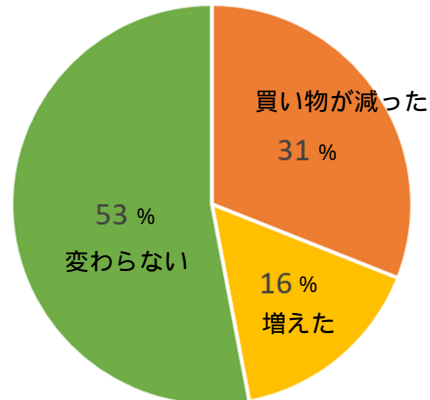
商品券がなかった場合の消費行動

地元の店で購入する・・・53%
地元以外の店で購入する・36%
買うのをやめる・・・・・・11%



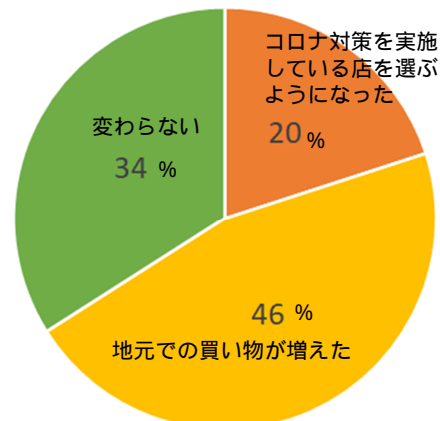
新型コロナウイルス感染拡大による消費の変化

買い物（消費）が減った・31%
増えた・・・・・・16%
変わらない・・・・・・53%



新型コロナウイルス感染拡大による消費行動の変化

コロナ対策を実施している店を選ぶようになった・・・20%
地元での買い物が増えた・46%
変わらない・・・・・・34%



【効果検証】

コロナ前と後の消費行動を見ても、約3割が買い物（消費）が減ったと答えており、外出自粛や時短営業による消費の落ち込みが懸念される中で、今回の商品券発行事業により6割以上の方が普段の買い物より消費が増え、4割以上の方が地元での買い物が増えたと答えていることから、市民生活の緊急支援と地域の消費喚起を促す効果があったと考えられる。また、今まで紙で発行していた商品券を一部電子化することで利便性の向上による利用者の拡大や事務負担の軽減、現金を扱わないことでの衛生面の確保が図られた。

今後は利用データの可視化を図り、より効果的な取組へと展開させていく。